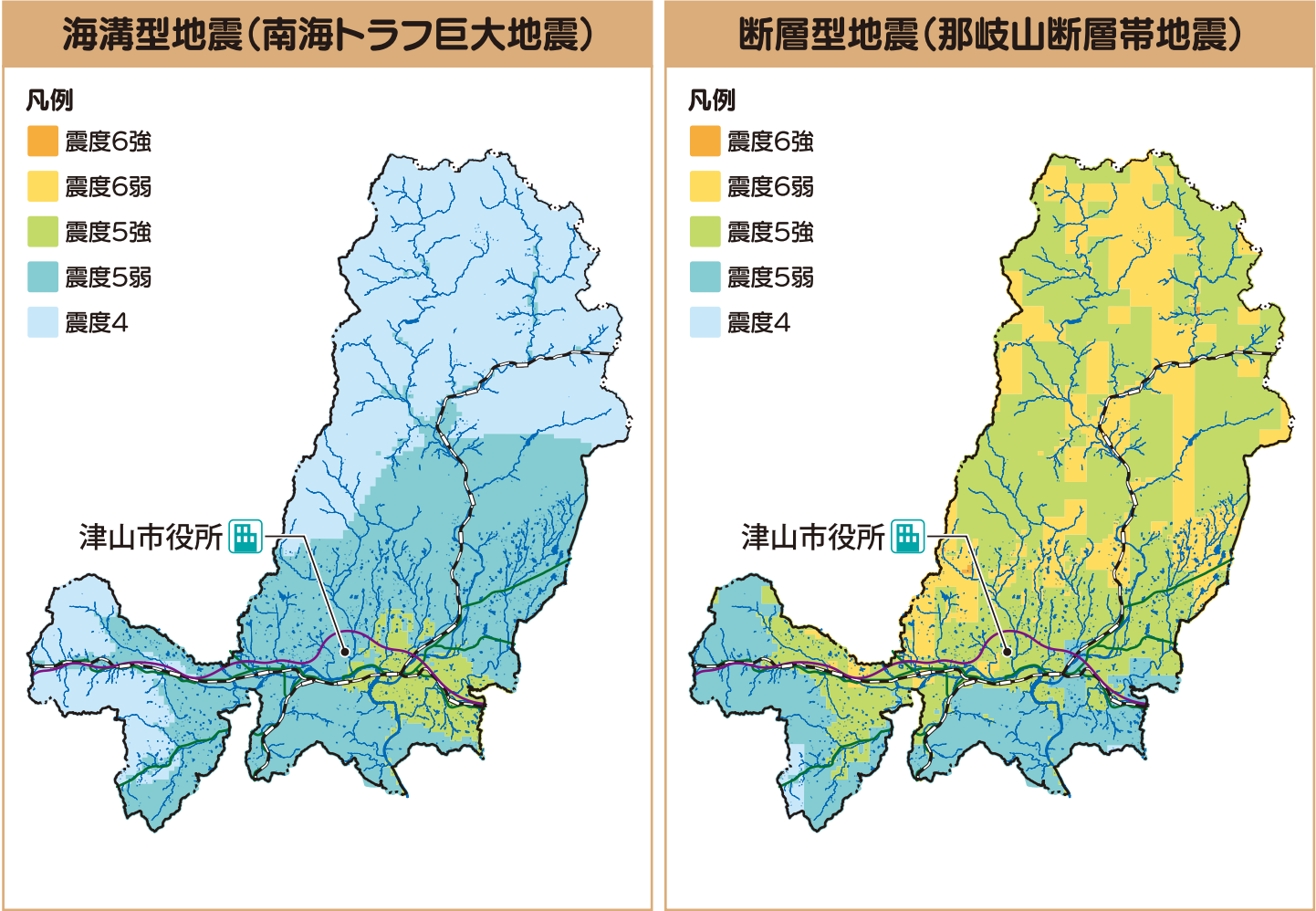


地震には、大きく分けて、南海トラフなどの海溝で発生する海溝型地震と、陸地の活断層で発生する断層型地震などがあります。このマップでは、海溝型地震である南海トラフ巨大地震と断層型地震のうち津山市でもっとも被害想定が大きな那岐山断層帯地震などについてお伝えします。

● 想定震度分布図

震度と被害想定



● 揺れによる被害想定(想定される主な地震)

● 震度と揺れの状況

名 称		マグニ チュード (Mw)	想 定 最 大 震 度 (震度階級)	建 物 全 壊 数 (棟)	建物大規模 半 壊 数 (棟)	建 物 倒 壊 による人的 被害・死者 (人)
南海トラフ巨大地震		9	5弱	0	11	0
内 陸 型 地 震	山崎断層帯	7.3	6弱	7	252	0
	那岐山断層帯	7	6強	43	787	3
	倉吉南方の 推定断層	6.8	5強	0	0	0
	大立断層・ 田代峠- 布江断層	6.8	6弱	12	325	1
	鳥取県 西部地震	6.6	5弱	0	0	0

震度5弱	大半の人が恐怖を覚える。固定していない家具が移動し、不安定なものは倒れる。
震度5強	多くの人が物につかまらないと歩けない。固定していない家具は倒れることがある。窓ガラスが割れて落ちることがある。
震度6弱	立っていることが困難。ガスや水道の配管に被害が出る。耐震性の低い建物は倒壊するおそれがある。
震度6強	立っていることができず、はわないと移動ができない。補強されていないブロック塀はほとんどが崩れる。
震度7	揺れに翻弄され、自分の意思で動くことができない。耐震性の高い建物でも倒壊などの被害がある。大きな地割れや地すべりなどが発生する。

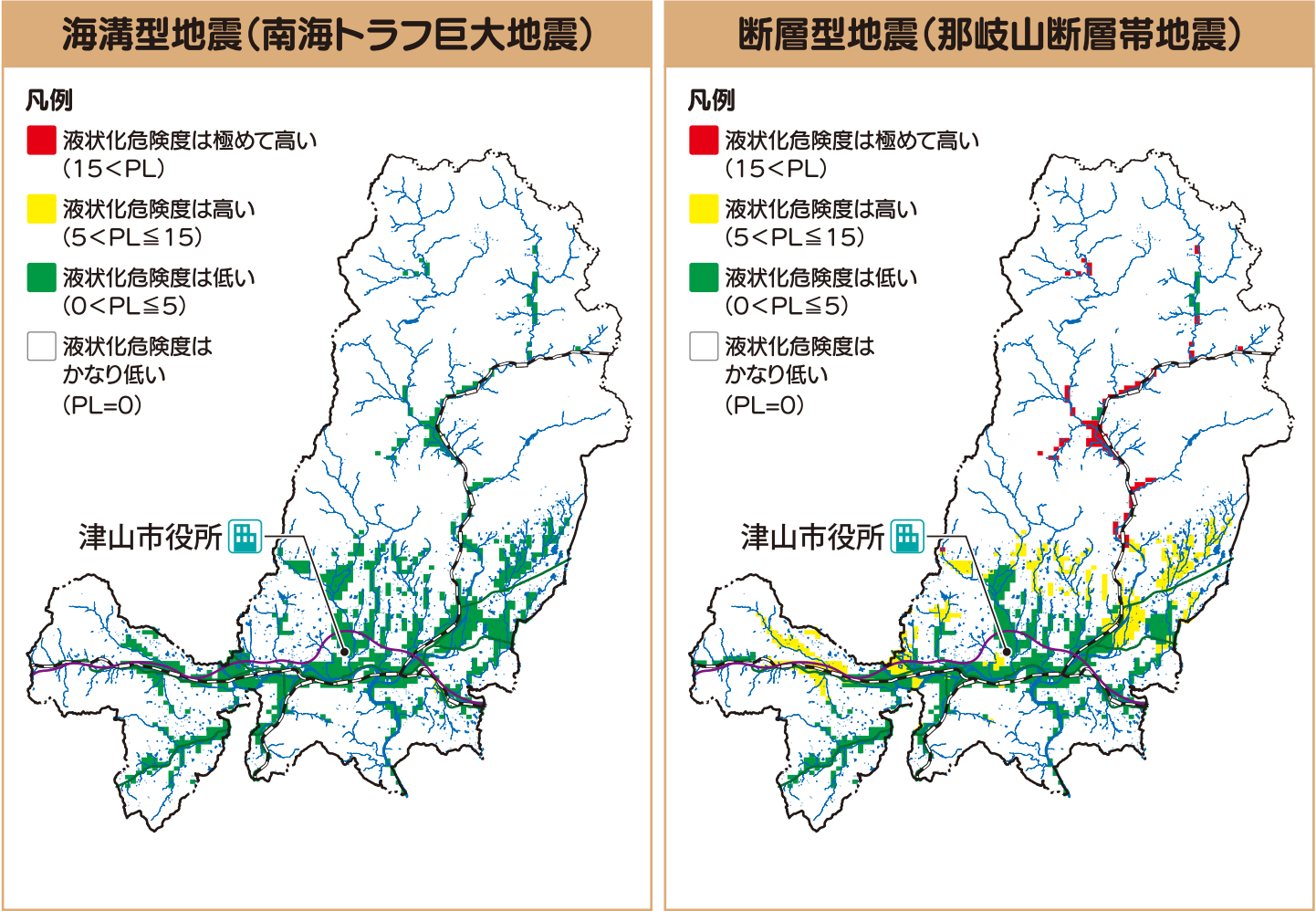
詳しくはこちら▶

岡山県「大規模地震(南海トラフ巨大地震、断層型地震)の被害想定について」



● 液状化危険度分布図

液状化の危険度と被害想定



● 液状化による被害想定

● 液状化とは…

名 称		建物全壊数 (棟)	建物大規模 半壊数(棟)
南海トラフ巨大地震		0	2
内陸型地震	山崎断層帯	5	67
	那岐山断層帯	9	112
	倉吉南方の推定断層	0	0
	大立断層・ 田代峠-布江断層	5	65
	鳥取県西部地震	0	0

- 軟弱な地盤に地震の波が伝わると土中の砂と地下水が動き、地面に土砂混じりの地下水が吹き出します。
- 液状化した地盤では、地面にひび割れや陥没が発生し、建物は傾いたり、道路が通行不能になるなどの被害が発生します。
- 水道や下水道のマンホール、埋設管が地表に浮き上がったりすることもあります。

